



会報

No.33

2014年5月27日発行

発行／日本コンプライアンス・オフィサー協会 発行責任者／菊池一男
〒162-0845 東京都新宿区市谷本村町3番21号 電話 (03) 3267-4826 ホームページ <http://jcoa.khk.co.jp/>

求められるコンプライアンスの意味を考える

いまや、企業経営の最重要課題であるコンプライアンス。“コンプライアンス”という言葉が日本で使われ始めたのは、一説によると、1990年代後半。バブル経済がはじけ、モラルの低下、消費者の権利意識の高まりなどから法令遵守の必要性が問われました。当時、おそらく多くの人が、コンプライアンス (Compliance) という言葉を聞いても、ピンとこなかったのではないのでしょうか。英語のうえに、日本語に訳しても「法令遵守」という難しい言葉になったために、当初は全業種・全業界までの浸透はなかったようです。「コンプライアンスなんてブームであって定着しない」「コンプライアンスなどと言わなくても常識で判断できる」「コンプライアンスを怖がっているのは商売ができない」などとも言われたものです。

しかし、2000年代に入り、世の中の捉え方が一変します。大手乳製品メーカーによる食中毒事件、同子会社による食肉偽装事件、大手自動車メーカーによるリコール隠ぺい事件、老舗菓子メーカー及び老舗料亭による賞味期限偽装等々の不祥事が発覚し、連日のように報道され、社会問題化しました。このように企業の社会的責任が問われる中で、CSR (Corporate Social Responsibility) という概念が出てきました。しかし、この言葉も英語であり、しかも頭文字をとった略語であったため、理解されることは難しかったようです。意味するところは、企業が社会的に果たす責任として、「消費者保護」「環境」「人権」「労働慣行」などの諸問題を解決していくことですが、コンプライアンスは常にその根底にあります。

さらに、法令がすべての事象をカバーしているわけではなく、不祥事防止には限界があることもわかってきました。ビジネスの過程で、「グレーゾーン (違法ではないが倫理的・道義的に見てどうか)」が存在することがあるからです。これをカバーするのが「企業倫理」という領域です。コンプライアンスの解釈に倫理的な側面をも含めるなどの意味合いもあって、その訳語が「法令遵守」から「法令等遵守」になったとも言われています。

コンプライアンスが社会からの要請であり、決して軽視できないのは、ひとたび不祥事を起こせばイメージダウンによる信頼回復には時間がかかり、企業経営に大きなダメージを与え、場合によっては廃業に追い込まれることもありうるからです。さらに株主代表訴訟が提起されれば、経営責任が問われる可能性も出てきます。最近では、大手化粧品メーカーによる肌被害の公表漏れ、ホテル系列レストランによる食材虚偽表示等が記憶に新しいところですが、コンプライアンスの取り組みが定着しつつある反面、相変わらず不祥事が起きていることに留意しなければなりません。

「不断の努力でコンプライアンスの徹底を」とのお題目だけでは、再発防止は確保できません。コンプライアンスの知識取得とともに、「自社の社会的責任」「倫理的価値」の観点からも、何のために、どのような行動をとるのが不祥事の未然防止となるのかについて、具体的に考えるトレーニングを日頃から習慣づけておくことが大切です。

(日本コンプライアンス・オフィサー協会
事務局長 菊池一男)

〔表〕 J A コンプライアンス 3 級 業態別成績一覧表

	都・銀 特 銀	地 銀	信 託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信・連 農 協	労 金	生・保 損 保	証 券	郵 政	他団体 個 人	全 体
応募者数(名)	0	0	0	0	0	1	2,274	0	0	0	0	58	2,333
応募比率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.04	97.47	0.00	0.00	0.00	0.00	2.49	100.00
受験者数(名)	0	0	0	0	0	1	2,178	0	0	0	0	51	2,230
受 験 率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	100.00	95.78	0.00	0.00	0.00	0.00	87.93	95.59
認定者数(名)	0	0	0	0	0	1	2,071	0	0	0	0	51	2,123
認 定 率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	100.00	95.09	0.00	0.00	0.00	0.00	100.00	95.20
平均点(点)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	82.00	72.88	0.00	0.00	0.00	0.00	76.94	72.98
年 齢(歳)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	48.0	40.1	0.0	0.0	0.0	0.0	38.8	40.1
勤続年数(年)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.0	17.1	0.0	0.0	0.0	0.0	15.9	17.1

※ 認定基準は60点(以上)です。表中の平均点・年齢・勤続年数は受験者の数値です。

コンプライアンス・オフィサー認定試験 成績結果

去る3月2日(日)に実施いたしました第31回コンプライアンス・オフィサー認定試験の成績結果がまとまりましたのでご報告いたします。

● J A コンプライアンス 3 級

成績結果は、〔表〕のとおりです。

応募者数2,333名中受験者数は2,230名で、認定者数は2,123名でした。認定率は95.20%、平均点は72.98点と、たいへん良好な成績結果となりました。

平均点は前回より10.7点下がりましたが、認定率は4.21ポイントの低下にとどまりました。これは、一部の問題で低い正解率の問題がありましたましたが、その他の問題でほとんど75%を超える正解率

となったことが要因と思われます。他に良好な成績結果の要因として、前回に引き続き平均年齢が40.1歳、勤続年数が17.1年と実務に精通しているベテランと思われる方が受験されたことが考えられます。

正解率が30%を下回った問題は、〔問-4〕民法における不法行為、〔問-8〕就業規則、〔問-15〕公益通報者保護法、〔問-25〕農地法、〔問-47〕老人の福祉に関する事業、の5問でした。

コンプライアンスには、非常に幅広い論点があります。試験が終わったから学習をやめてしまうのではなく、常に社会の動向をウオッチし、継続した自己研鑽が必要と思われます。

〔2014年10月実施〕コンプライアンス・オフィサー認定試験のご案内

実施日	願書受付期間	実施種目	出題形式	実施時間	受験料
第33回 2014年 10月26日(日)	2014年 8月18日(月) ～9月8日(月) 必着	金融コンプライアンス・ オフィサー1級	事例付記述式	13:30～16:30 (180分)	6,480円 (税込)
		金融コンプライアンス・ オフィサー2級	四答択一式	10:00～12:30 (150分)	4,320円 (税込)
		保険コンプライアンス・ オフィサー2級			